

## 自分にとって平和とは

沖縄県立沖縄高等特別支援学校二年 知念 樹羅音

私が思う平和とは、「世界の人々を差別せず」どの国も仲良しでみんなが幸せに暮らせる社会が私の思う平和です。生き物や、動物も私たちと同じように生きていてそれを食べて自分の命を保つことができるので感謝しなくてはならないと思います。今は、残している人もいるけれど戦争になったら残すこともできません。

「みなさんはどう思いますか」

戦争をしている時代は飛行機がいつも空を飛んでいたそうです。今の私達のようにぜいたくもできず食べ物もなく亡くなってしまいう人々が大勢いたそうです。学校に行っても勉強は私達が今、学んでるようなものではなく毎日のように竹やりの訓練をしていたそうです。私が思うことは、きつと訓練ではなくちゃんと勉強をしたかったと思います。だからこれからは、戦争や紛争を行っているとすぐ止めたいと考えます。それは、もしたれかが亡くなってしまったらとても多くの人々が悲しい思いをするからです。

今の時代でも、昔と同じような戦争をしている所もたくさんあるけれど世界の国々、一カ国ずつおたがいが分かり合い、見つめあっていくべきだと思います。平和とは戦争や争いを無くし人々がお互いを尊重しあい世界の国同士をわかり合い、衣食住に困らない生活と助け合える世界になってほしいです。確かに一人だけの力は小さいかもしれないけれど「戦争をしてはいけない」、「争いごとはイヤだ」という声や気持ちがたくさん集まればきつと何かを変えられると思います。今、こうしている間にも戦争をやめてほしいと願っている人がいるはずなのです。これを読んでくれたあなた達の気持ち次第で、世界の人々が救えるのです。みなさんも戦争をやめてほしいと願ってみてください。きつと、どこかで助けられる人がいるはずですよ。戦争体験者の方の言葉で「平和」とは人によって考え方が、捉え方が違うと書いてありました。私にとっての平和はたくさん考えを受け止め、尊重し合い伝えあうのが平和ではな

いかと考えました。「戦争」では、関係のない人までも傷つけて一生残る心の傷や、体に傷を与えて何も良いことなどありません。「戦争」は一人一人の気持ちを考えればそんなことはできないはずだと思います。耐久性の高い建物でもほんの一瞬で破壊されるほど原子爆弾は強力なので絶対に核兵器を作ってはいけないと心からそう思います。そのため今からできることは、自分たちで戦争という意識を未来に持たせないこと。戦争の恐ろしさ、苦しみや悲しみを未来に伝えていくことだと思います。私は、だれか一人がいやな気持ちだとそれは平和ではないと思います。もっと世界をよくするためには、周りに任せるのではなく一人一人が世界を変えていくべきだと思います。たとえば、他の国のことを知り交流を深めて他の国と仲良くなるほど未来のために今からでも豊かな暮らしをおくることを目指している世界になっていくべきだと思います。そうすれば世界の人々が「平和になった」、「戦争がなくてうれしい」などと言ってほしいです。そのために戦争やイジメをなくす事はできませんが小さい事でもいいのでそこからやれる事をしていけばいいと思います。戦争は、国と国の争いに武力を使って人を殺し合うというとても怖いことなると分かりました。争いとは、全く無関係な人々が傷つく世界は、平和とはいえません。私は、実際に平和記念資料館を見学して広島に投下された原子爆弾を見ました。長さ約三メートル、直径0.7メートルで重さ約四トン。この爆弾で多くの人の命がうばわれて広島街がなくなってしまうのかと思うとこの爆弾を作らなければよかったのに、戦争がなかったらよかったのと思いました。そしてこれからも平和な道を歩んでいきましょう。